謹賀新年

市長・議長 年頭のごあいさつ

歌志内市長　**村上隆興**（むらかみたかおき）

新年あけましておめでとうございます。

市民の皆さまには、輝かしい新年を健やかにお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

私は、昨年10月の市長選挙におきまして、市民の皆さまから温かいご支援を賜り、引き続き、2期目の市政を担うこととなりました。あらためて、職責の重さを強く認識し、市民の皆さまのご期待に応えられるよう全力を尽くす所存であります。

さて、昨年は、南米初開催となるリオデジャネイロオリンピックが開かれ、体操や卓球など日本人選手の連日の活躍は、多くの国民に感動と勇気を与え、4年後の東京での活躍に期待が高まる五輪となりました。

また、道内では、北海道新幹線の開業や北海道日本ハムファイターズが10年ぶりに日本一となるなど、明るい未来への架け橋となるできごとが多く、印象に残る年となりました。

一方、異常気象などによる自然災害が全国各地で猛威を振るい、4月の熊本地震では、甚大な被害をもたらしました。

8月には、北海道に観測史上初となる3つの台風が上陸し、豪雨による河川の氾濫や土砂災害が発生し、道内各地に大きな爪痕を残しました。

本市でも、床上浸水や道路冠水などの被害が各所で発生したほか、土砂崩れにより道道4路線が同時に通行止めとなるなど、近年にない大雨災害を経験し、あらためて自然災害の猛威を痛感したところです。

今後は、この災害の教訓を生かし、防災体制を再点検し、より安心・安全に暮らせるまちづくりを進めていかなければならないところであり、その第一歩として、昨年11月に、災害時に身体の不自由な方が安心して滞在することができる「福祉避難所」として、社会福祉法人と協定を締結し、3カ所を指定することができ、非常に心強く思っております。

また、昨年は、『みんなで創る笑顔あふれるまち』を基本理念とした「歌志内市総合計画」がスタートした年でもありました。

新たなまちづくりを進めるため、重点プロジェクトとして掲げた「魅力ある産業の創出」、「定住環境の整備」、「子育て支援の充実」、「コンパクトな市街地形成」の実現に向け、ワイン用ぶどう試験栽培事業の本格的な再開や高齢者専用住宅の建設、平成30年度に開設を予定している認定子ども園の建設に向けた実施設計をはじめとした各種施策を積極的に推進することができました。

これからも、人口減少や少子高齢化などの本市が抱える課題と向き合いながら、地域の特性を生かした魅力あるまちづくりの実現に向けて、有効な施策の選択、効果の検証を繰り返し、「住んでいて良かったと実感できるまち」を目指して市政運営を進めてまいりますので、引き続き、市民の皆さまのご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

今年は酉年です。酉年は、「商売繁盛につながる年」とも言われています。地域経済が繁栄することはもちろん、市民の皆さまが未来に向けて大きく羽ばたくことを期待して止みません。

終わりに、新しい一年が皆さまにとって、健康で幸多き年でありますよう、心からご祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。

歌志内市議会議長　川野敏夫（かわのとしお）

年頭にあたり市議会より、市民の皆さまにごあいさつ申し上げます。

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆さまには、輝かしい新春を健やかにお迎えのこととお慶び申しあげます。

昨年を振り返ってみると、1年の早さを感じるとともに、田村武史議員が、入院加療中のところ4月16日に逝去されたことが痛恨の極みとして心に残っております。

平成27年4月に初当選され、歌志内市の発展のため住民福祉の向上、市政の円滑な推進に励む意気込みに溢れた中、志半ばで去ることは、本人はもとよりご家族、支援者の皆さま、そして私ども議員も誠に残念でありました。私どもも、健康にじゅうぶん留意し故田村武史さんの遺志に恥じない議会運営に努めたいと思っております。

今、各自治体では、財政の健全化、少子高齢化と人口減少対策、医師の確保、振興公社の運営、指定管理者制度、広域行政の体制、災害対策、ＪＲ北海道の路線縮小問題等の地域毎の課題が多岐に渡って山積しています。

本市の方が順調に進んでいること、反対に他市町が羨ましく思える面など様々ですが、一言で歌志内の魅力をアピールすることが難しく、模索の一年だったように感じます。

本市におきましても、昭和56年以降久しくなかった台風による大雨で、町内の川が瞬く間に溢れ、市道が川となって泥水が住宅の床下や川沿の車庫と物置に流れ込むなど初めての経験でした。議員として、町内会長として、どの時点で、誰を、どこへ、どのように避難することが安全なのか、とっさの判断ができませんでしたが、消防職員や町内会の皆さんとともに、子ども、お年寄り、一人暮らしの方と連絡をとり、何人かの方を「うたみん」へ避難させることで人的被害には及びませんでした。今回、自然災害の怖さを痛感するとともに、市民一人ひとりが防災意識を持ち、防災体制の充実を図ることが重要だと再認識しました。

昨年の10月から村上市政が2期目に入り、議会も本来の8人で市民の皆さまの声を市政に反映できる体制が整いました。現在、行政と議会についても風通しが良く、意思の疎通がスムーズな関係にあると思っておりますので、今後の市政運営と市民の皆さんからの声を反映する議員政策提案も含めてまちづくりを進めて行きたいと考えております。

現在、全国的に地方創生が進められ、本市においても10年間の基本構想に基づき前期4年間、後期6年間の基本計画と実施計画により、毎年事業を見直しながら、『みんなで創る笑顔あふれるまち』を基本理念として、市民、行政、議会が知恵を出し合って、全ての市民が求めるまちづくりを目指しております。

昨年完成した高齢者専用住宅を視察させていただきましたが、日当たりが良く、コンビニエンスストアや警察、バス停も近く、安心して快適に暮らせる住宅だと思います。

また、平成30年4月に開園予定の認定こども園は、今後、入園児数、職員数、保育料、給食体制等が検討されると思いますが、誰もが安心して子どもを預けられ、近隣の市町からも入園していただけるような施設になることを期待しています。

これからは、人口の47パーセントを超えている高齢者パワーを町内会活動、ボランティア活動、イベントなどへ活用し活性化へつながる施策が必要です。

2期目の村上市政を注視しながら、市議会といたしましても小さいからできるまちづくりに参画してまいりますので、今後ともご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、本年が皆さまにとりまして幸多き年でありますよう心よりお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

今年の干支 酉年（とり どし）

生まれの皆さんをご紹介します！

あけましておめでとうございます。

今年も広報では、平成29年の干支「酉年」生まれの皆さんにご登場いただき、新しい年の抱負などをお伺いしました。

今年も皆さん健康で、明るい一年になりますように。

▶左から、庄司朱里（しょうじあかり）さん、古谷愛里（ふるやあいり）さん、阿部幸大（あべこうだい）くん、和田慎吾（わだしんご）くん（平成17年生）

歌志内小学校から５年生を代表して４人の皆さんがお話しを聞かせてくれました。

「学校の授業では、体育と図工が好きです」と答えてくれた朱里さん。冬休み中に練習をして、スキーが上手になりたいそうです。将来は、「ネイルを作る仕事がしたい」と話してくれました。

「宿泊研修が楽しかったので、修学旅行にいくのが楽しみです」と話してくれたのは愛里さん。「これからは、お家のお手伝いをしっかりするようにしたいです」と今年の目標を聞かせてくれました。

「友達を作ることが得意です」と答えてくれた幸大くん。いつか、海外旅行にいってみたいそうです。得意科目は、体育と算数で「今年は、病気やケガがないようにしたい」と話してくれました。

慎吾くんも「将来は、海外旅行にいってみたい」と話してくれました。「みんなで頑張った学習発表会が、昨年は一番心に残っています。小学校生活最後の修学旅行が楽しみです」と元気に答えてくれました。体を動かすことが大好きで、特に木登りが得意だそうです。

今年は最高学年の６年生になるので、運動だけではなく勉強にも力を入れ、ルールを守って今よりも仲良く生活しながら、勉強と運動を両立した学校生活を送っていきたいというのが全員の思いでした。

皆さん苦手なことにもチャレンジして、それぞれの目標を達成できるようがんばってくださいね！

▲芳賀美穂さん（昭和44年生）と勇飛くん（平成17年生）

文珠にお住まいの芳賀美穂さん、小学生で同じく酉年の勇飛くん親子にお話しを伺いました。

今年はどんな年にしたいですか？の問いかけに美穂さんは、「昨年は、家族に大きなケガや病気がなかったので、家族全員が健康で仲良く暮らせる１年にしたいですね」と話されました。

「体育と国語が得意です」と元気よく答えてくれた勇飛くんは、昨年、学習発表会で発表した南中ソーランが一番楽しかったそうです。今年の抱負は「小学校最後の年なので、今まで苦手だった算数の計算をもう少し頑張りたい」と話してくれました。

上歌にお住まいの澤本幸子さんにお話しを伺いました。

趣味は週２回ほどフィットネスクラブに通い、運動することだそうです。体を動かすことで心身ともにリフレッシュでき、その場で会う知らない方との会話も楽しみの一つだとお話ししてくれました。

今年やりたいことはありますか？と聞くと「夫とゆっくり旅行に行きたいですね」と笑顔で答えてくれた澤本さん。最後に「これからも元気に地域と助け合いながら暮らしたいですね」とお話ししてくれました。

▲澤本幸子さん（昭和20年生）

▲左から山崎冴子さんと平田キクさん（お二人とも昭和８年生）

養護老人ホーム「楽生園」から、山崎さんと平田さんにお話しを伺いました。

「去年はかぜをひいてしまい、自分の誕生会と病院が重なってしまったため、今年の誕生会は元気に迎えたい」と言う山崎さん。

平田さんは、「施設の方は優しく、とっても幸せな１年でした」とうれしそうに話してくれました。

お二人とも歌が好きで、他の方の誕生会にはすてきな歌声を披露することもあるようです。

今年はどんな年にしたいですか？と問いかけると、お二人とも「体が一番の財産なので、健康で病気をしないで暮らしたいですね」と答えてくれました。